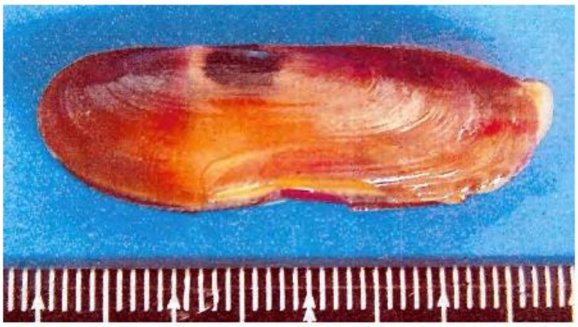
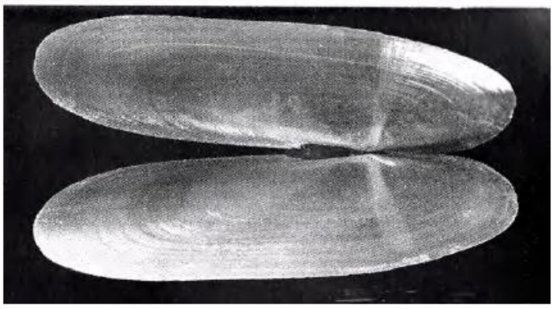
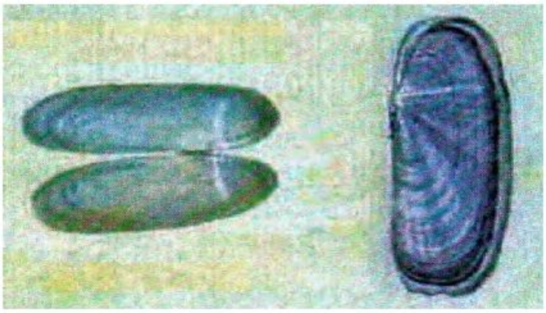
ミゾガイ　*Siliqua pulchella* (Dunker)　　(六介) 溝介

ユキノアシタガイ科　殻長 3cm。殻は薄く半透明、紫色。分布は房総半島以南。





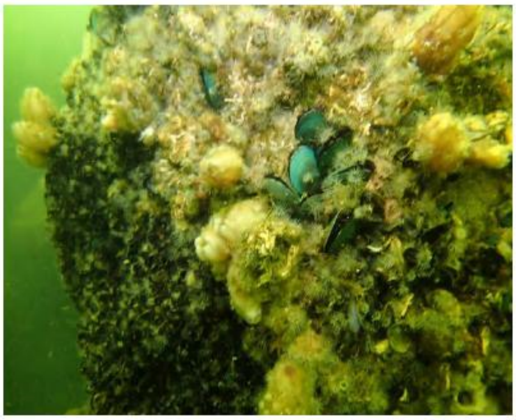
日本の貝殻(岩波写真文庫 1953 年)



ミゾガイ絵図　目八譜 天保 14 年(1843 年)

ミドリイガイ　*Perna viridis* (Linnaeus)

イガイ科　殻長 10cm。ムラサキイガイに類似、殻は鮮やかな緑色。移入種。原産地は東南アジア、インド洋。日本では 1967 年兵庫県御津町で初発見、1980 年代に東京湾と大阪湾、以後各地に分布を拡大。当初は火力発電所からの温排水が生活拠点とされ、日本の冬季には生息出来ないといわれた。海外では、カリブ海、メキシコ湾、オースオラリアにも定着している。日本の市場に出回る「ムール貝」はモエギイガイ *Perna canaliculus* が多い。モエギイガイはミドリイガイの近縁種でニュージランドでは養殖が行われている。



羽田空港Ｄ滑走路周辺

アカニシの生貝に着生したミドリイガイ

京浜運河（青野良平　2008 年 1 月）

ミルクイ　***Tresus keenae*** Kuroda & Habe　（丹浦）海松喰

写真左：2006 年 9 月、羽田空港浅場にて採捕（死殻)。殻長 14.5cm。
この大きさまで生息していた事例（現状でも充分に成長した事例)。
写真右：水管を出している状態（食用部位は水管。一般にミルガイと言う)。

バカガイ科　殻長 15cm。殻はやや厚く、膨らむ。分布は北海道以南。産卵期は 3～6 月。1ヶ月で 2mm、1 年で 6cm に成長する。本海域では、この大きさの幼貝が採捕できる。